

(※673)

【翻刻】

甚暑節ニ御座候処御家内様御

清福ニ賀奉候次ニ私義無事ニ相勤

候御安心被下度候扱私は本田鶴吉

宅ニ而御世話ニ頼リそれちけわんに参り

口をきくそれちしごとにはいり候壹日は壹

円ニ相成り候作年は壹日は壹円貳拾錢

当年は日本人沢山ゆへ貳拾錢さけ候

朝は五時夜は日の入まれあつたにこまり

候百貳拾どしばんハしぼり水ハねまする是に

誠ニこまる又風ハぬくい風に丸で火の風ハ

ふき候又ねるとこハ日本のうしげや

のいじくそのうちらねるとこハいたまね

ぬくになり候扱横浜ち西亀之助三に

三円送り着仕候か又さんふらすち四

拾五円送り是はべい金ニ致し三拾八円ニ

相成り候是も送り此返事被下度候
お峯たんしやしてくれ又小子を

大事致し被下度候又お安義は

ぬいものをさし被下度候ばたけいきわ

いかす事は無事二被下度候私は一

日二壹円相成候壹ケ年は百七八拾円相

成り候此段御安心被下度候此事

大坂敏郎方へ此事を手紙ヲ出シ被

下度候猶本田子は米国二而壹ち二壹円

二相成り候私ち本田子はことばれき

るのれまだ私ちうけハよろ敷候此事

敏郎二手紙二致し早々御送り被下

度候敏郎義は米国いわくる事

はなりませる船はなかなか

へらいなみハ日本の小坂山となまたおき

いよんてに敏郎などハとてもよこ

ん此事何卒く敏郎二申上被下候

猶大坂にてへんぎよ致し錢もけをす
るよに御申被下度候本田はおやこい
き日二月に成ります

(端裏)

岩崎峯様

五月廿七日

岩崎甚四郎